

平成25年度実質当初予算 観光交流局主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 北陸新幹線金沢開業まで残り2年となる中、最重要課題である首都圏からの誘客拡大に向けて今年度内に策定する「新幹線開業PR戦略実行プラン」に基づき、効果的な情報発信ならびに観光客を迎える受け地の魅力づくりなど「首都圏誘客500万人構想」をより一層推進する。
- ・ 小松・台北便デイリー化など海外からの誘客環境の変化に的確に対応し、国や地域などそれぞれのお国柄等に応じた戦略的な誘客活動を積極的に展開して「海外誘客10倍増構想」を着実に推進する。

◎重点主要施策の概要

- 北陸新幹線金沢開業に向け首都圏等からの戦略的な誘客を推進するため、観光交流局を改組して「観光戦略推進部」を設置するとともに、「新幹線開業PR戦略実行プラン」に基づく今後5年間の開業PRを財政面から支えるため、新たに「新幹線開業PR推進ファンド」を創設し、これを活用して首都圏県人会等との協働による「日本橋・京橋まつり」へのプレ参加や東京駅での開業PRイベントの開催など情報発信の強化と県内全域の観光情報を提供できるコンシェルジュの育成など観光客を迎える体制の整備を推進する。
- 開業効果の全県波及に向け受け地の魅力向上を一層推進するため、観光案内サインの整備や温泉地の魅力アップに取り組むとともに、本県が誇る観光資源である食や伝統芸能などを全国に発信する。
- 小松便のデイリー化が実現した台湾については、エバー航空と連携した商品造成を図るとともに、今後の成長が見込まれる東南アジアからの企業の報奨旅行や個人旅行の掘り起こしに努める。
また、国内大手旅行会社との連携など誘客環境が整いつつある欧州については、現地メディアの招へいや観光イベントへの出展を通じた認知度向上に努めるとともに、北陸新幹線を利用した旅行商品の造成に向けた取り組みを推進する。
- 世界各地の学生等が日本語・日本文化を修得するために来県・受講する、本県独自の「日本語・日本文化研修プログラム」の活性化を図るため、海外でのPR活動や県内大学生との交流会などプログラムの魅力向上を推進する。

平成25年度実質当初予算 観光交流局主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 交流が盛んな特色ある地域づくり		
(1) 北陸新幹線金沢開業を受けた観光交流施策の戦略的推進 ～首都圏誘客500万人構想の推進～		
ア 推進体制の強化		
⑧ 観光戦略推進部の創設		4課1室体制へ移行 観光振興課、首都圏戦略課、国際観光課、国際交流課、企画調整室
⑧ 首都圏誘客機能の強化		東京に首都圏誘客推進室を設置
⑧ 国内誘客戦略アドバイザーの設置	2,000	誘客戦略や団体イベントの誘致などについての専門的助言
・ 新幹線開業PR戦略実行プランの推進	2,500	実行委員会の開催、デスティネーションキャンペーンに向けた準備
⑧ 新幹線開業PR推進ファンドの創設	10,000,000	官民一体による今後5年間のPR財源確保(総額120億円) 県貸付金 60億円、ふるさといしかわ債 40億円 (その他、市町貸付金20億円)
イ 戦略的な首都圏誘客の強化		
⑧ 「日本橋・京橋まつり」へのプレ参加	新幹線開業 PR推進 ファンド 60,000	首都圏県人会等との協働による北陸新幹線金沢開業PRの実施 (平成25年10月) ※平成26年度に本参加
⑧ 東京駅での開業PRイベント開催		本県食材を活用したスイーツ等の販売を行う「石川マルシェ」の開催
⑧ 新幹線沿線地域でのキャンペーン展開		沿線地域の商業施設での物産展や観光PR等の実施
⑧ 地域の観光情報センターの機能充実		観光情報を的確に提供できるコンシェルジュの育成
・ 「ふるさと祭り東京」への出展	9,500	「食」をメインテーマとしたブースの出展(平成26年1月、東京ドーム)
・ 首都圏の鉄道事業者とのタイアップによる観光PR	8,800	JR東日本や東京メトロ、⑧小田急電鉄等首都圏での車内広告・駅構内での観光PRなど
・ 旬の食材の魅力を活かした「いしかわ食の歳時記」の実施	6,500	⑧食談開催による「食」の情報発信、旬の食材提供店舗の充実
・ 大手福利厚生代行会社や大手旅行予約サイトを活用した情報発信	6,000	民間企業の余暇活動をサポートする会社の会員向け会報誌や大手旅行予約サイトのメールマガジン等を活用した本県の季節ごとの魅力発信
・ 県人会や観光特使のロコミによる本県の魅力や観光情報の発信	9,100	交流イベントの開催、特使を対象とした研修会の開催
・ 団体イベント(MICE)の強化	15,000	修学旅行や大学の合宿等の誘致、企業の報奨旅行や会議研修などターゲットを絞った誘客の強化
ウ 受け地での情報発信の強化		
⑧ 石川県金沢観光情報センター機能強化の検討	5,000	ゼネラルマネージャーの設置

事業名	金額(千円)	説明
エ 戦略的な国内誘客の促進		
・ 効果的な情報発信	61,071	3大都市圏等における雑誌・テレビなどマスメディアを活用した観光石川の発信 石川の魅力を発信するホームページ運営、観光パンフレット作成など
・ コンベンションの誘致	25,000	石川の魅力を活用したコンベンションの誘致、コンベンション運営支援など
・ 旅行会社等によるナイトツアーの開発支援	4,000	夜や早朝の観光資源を活かした旅行商品造成に対する支援など
・ 体験型観光の推進	8,000	本県ならではの地域ブランドに、地域の人々とのふれあいに焦点をあてた体験プログラムの磨き上げ・情報発信、 ⑧産業観光フォーラムの開催支援
・ 広域周遊観光ネットワークの強化	9,500	岐阜県、福井県、富山県と連携した誘客PR、 加賀越前広域観光推進協議会を活用した、⑧首都圏合同キャンペーンの実施、⑧「加賀越前クーポンブック(仮称)」の発行など
・ 石川香川観光パートナーシップ協定の推進	3,000	合同誘客イベントの実施(首都圏、中京圏)など
・ 能登ふるさと博開催に対する支援	能登半島地震復興基金 62,500	灯りをつなぐ能登半島、蔵コンサート、能登秘宝めぐりなど 広域的な取り組みによる誘客促進
・ 加賀四湯博開催に対する支援	15,000	Lady Kagaガイドツアーなど、広域的な取り組みによる誘客促進
・ 加賀四湯博等への誘客拡大	33,000	温泉旅館等の宿泊者を対象とした白山スーパー林道の実質片道無料化支援
(2) 開業効果の全県波及に向けた受け地の魅力向上		
⑧ 開業に向けた民間主体の取り組みに対する顕彰制度の創設	500	開業の認知度向上に大きく寄与した企業・団体を表彰
・ おもてなしの向上に向けた取り組みの推進	6,300	観光おもてなし塾、観光おもてなし講座の開催、 ⑧県民が実践するおもてなし体験談の活用 など
⑧ 観光案内サインの整備	100,000	道路新設などの環境変化に対応した観光案内サインの設置
⑧ 温泉地の魅力アップ支援	50,000	景観の向上につながる建物外観整備、伝統工芸品を活用した改装など、 温泉地の魅力アップにつながる前向きな取り組みへの支援
⑧ 地域伝統芸能全国フェスティバルの開催	42,000	本県の魅力的な観光資源である伝統芸能の全国発信(平成25年10月)
・ いしかわスイーツ博の開催	15,000	全国の製菓学校生によるコンテスト、県内菓子店が集結したスイーツフェアの開催など(平成25年10月)
・ 金沢城・兼六園四季物語の開催	8,729	金沢城公園・兼六園の四季の魅力発信

事業名	金額(千円)	説明
(3) 海外誘客10倍増構想の推進		
ア 海外誘客の企画力の強化		
⑩ 国際観光課の新設(再掲)		海外誘客推進体制の強化
・ 海外誘客アドバイザーの設置	2,800	現地の旅行需要の分析や県と連携した商品提案を通じた戦略的誘客 台湾、韓国、中国、欧州、⑩香港
⑩ 石川県インバウンド研究会の設置	1,000	海外観光客を受け入れる観光事業者等の取り組みを支援
⑩ 北陸新幹線を利用した旅行商品の検討	2,000	新幹線沿線自治体と連携した視察旅行の受入など
イ 国や地域の特徴に対応した戦略的な海外誘客の推進		
・ 小松定期便等を活用した誘客活動の展開	39,940	エバー航空との連携による商品造成支援(台湾)、 テレビメディアの招へい(台湾)、⑩石川観光物産展の開催(台湾)、 大韓航空との連携(韓国)、 スポーツ・レジャー関係者や教育旅行の招へい(台湾・韓国・中国)
・ 欧米等からの誘客促進	6,000	国内大手旅行会社と連携した現地旅行会社の商品造成支援、 ⑩旅行会社等招へい(独国)、⑩日本文化・観光PRイベント出展(英国)による認知度向上
・ 東南アジアからの誘客促進	7,000	⑩日系企業等の報奨旅行誘致(タイ)、⑩個人旅行の誘致(シンガポール)、 個人・団体旅行の誘致(香港)
ウ 海外からの観光客の受入体制の強化		
・ 海外観光客向けの情報発信の強化	6,220	観光案内人材研修、外国語パンフレットの作成(⑩タイ語、⑩ドイツ語)
(4) 観光交流施設の運営管理		
・ いしかわ動物園の運営管理	237,455	楽しく遊べ、学べる動物園の運営管理
・ ふれあい昆虫館の運営管理	107,845	昆虫とのふれあい体験施設の運営管理
・ 保健休養林施設の運営管理	147,590	森林公園、健康の森、県民の森の運営管理

事業名	金額(千円)	説明
2 個性を活かした文化と学術の地域づくり ～世界に開かれた多文化の共生と交流～		
(1) 地域住民に加え、在住外国人も参加する 「多文化共生・交流社会」づくり		
・ 多文化共生まちづくりの強化	2,000	フォーラムや地域交流会、ボランティア研修の開催等を通じた、多文化共生社会づくりに向けた啓発
・ 留学生支援の充実	28,800	本県で学ぶ私費外国人留学生に対する奨学金の支給
(2) 民間国際交流団体の充実と行政との 連携・協働体制づくり		
・ 日本語・日本文化研修センターの運営	33,559	本県独自の日本語・日本文化研修プログラムの実施 など
⑧ 日本語・日本文化研修プログラムの 戦略的活性化	5,200	研修プログラム充実のため、新規大学の受入促進、受入体制の強化 県内大学生と研修生との交流会の開催 台湾、オーストラリアでのPR活動 ホストファミリー体験説明会の開催
・ 草の根国際活動の促進	1,000	草の根団体が行う国際協力・貢献、交流事業などへの助成
(3) 県民参加による幅広い国際交流の推進		
・ 友好交流地域などとの多様な交流	5,520	石川県・友好交流地域活性化交流推進会議の開催、 21世紀石川少年の翼事業、石川インターンシップ事業の実施
・ 国際協力・貢献の推進	4,108	海外県人会子弟と本県青少年の相互派遣、海外研修員の受入
(4) 国際交流を促進するインフラの活用、 積極的な海外からのビジター受け入れ		
・ 国際交流施設の利活用促進	9,976	石川国際交流サロン及び石川国際交流ラウンジの運営に対する助成
(5) グローバル化に対応した人材育成と活用		
・ 国際交流員を活用した国際理解の促進	25,118	国際交流員5名配置 (米国、中国、韓国、ブラジル、ロシア)